

豊田珍彦

『豊橋地方空襲日誌』を読む

—豊橋から見た米軍の対日空襲の記録(1944.11.23～1945.6.20)—

阿部 聖



目 次

第1章 はじめに	1
第1節 『豊橋地方空襲日誌』について	
第2節 マリアナからの米軍の対日空襲の流れ	
第3節 本書の構成	
第2章 『豊橋地方空襲日誌』	
第一冊(1944年11月23日～1945年1月11日)	19
第1節 豊橋から見た1944年11月下旬の対日空襲(1944年11月23日～30日)	
日誌の開始	
1944年10月～12月のB-29出撃状況	
東京地域への爆撃の開始(中島飛行機武蔵製作所)	
渥美半島(神戸村付近)への投弾	
第2節 豊橋から見た1944年12月前半の対日空襲(12月3日～15日)	
気象観測爆撃機の出撃開始	
空襲下の大地震(1)東南海地震	
名古屋地域へのはじめての爆撃(三菱重工名古屋発動機製作所)	
第3節 豊橋から見た1944年12月後半の対日空襲(12月15日～31日)	
骨をさす寒さの冬の待避壕	
三菱重工名古屋航空機製作所への爆撃 豊橋上空での邀撃戦	
庶民の空襲時への対応と警報	
三菱重工名古屋発動機製作所への爆撃 石巻山西麓遠く、多米峠向こう に投弾	
昼間高高度精密爆撃の不振	
大晦日に3回の警戒警報	
第4節 豊橋から見た1945年1月上旬の対日空襲(1945年1月1日～11日)	
年頭の決意	
1945年1月のB-29の出撃状況	

- | 名古屋ドック地域と市街地への爆撃 第1回目の都市焼夷試験
- | 爆撃の熾烈化と米機動部隊来襲の懸念
- | B-29および焼夷弾への対応
- | 豊橋市内へのはじめての爆撃(飽海町他)
- | 爆撃被害地(飽海町)の検分
- | 東南海地震の余震か三河地震の前兆か
- | 第一冊の終わりに

第3章 『豊橋地方空襲日誌』

第二冊(1945年1月12日～1945年2月10日)…………… 117

- 第1節 | 豊橋から見た1945年1月中旬の対日空襲(1月12日～19日)
 - | 第二冊目のはじめに
 - | 空襲下の大地震(2)三河大地震
 - | 空襲下の大地震(2)三河大地震 続報
 - | 三菱重工名古屋航空機製作所への爆撃 B-29と余震の同時来襲
 - | 伊勢神宮外宮への投弾
 - | B29来襲の頻繁化と郷土防衛の緊急常会 防衛当番
 - | 空襲下の大地震(2)三河地震 続く余震
 - | はじめての東京・名古屋以外の大規模爆撃 牽制部隊浜松を爆撃
- 第2節 | 豊橋から見た1945年1月下旬の対日空襲(1月20日～30日)
 - | 第21爆撃機集団司令官のC.ルメイへの交代
 - | 三菱重工名古屋発動機製作所への爆撃 豊橋周辺に投弾
 - | WSM135、国府町森に投弾か
 - | 軍の過大な戦果発表 雪中の監視
 - | 目標は東京地域か名古屋地域か
 - | 6ポンド油脂焼夷弾の処理実験と防空法
 - | 空襲下の待避壕の完成と防空法
- 第3節 | 豊橋から見た1945年2月上旬の対日空襲(2月1日～10日)
 - | マリアナ基地の拡充と1945年2月中のB-29の出撃状況

- | 警報のサイレン(大崎、大清水、市役所、岩田、豊川)
- | 神戸港および神戸市街地の爆撃 第2回目の都市焼夷実験
- | 情勢に応じた防空体制の強化
- | 中島飛行機太田製作所への爆撃 牽制部隊浜松を爆撃
- | 第二冊の終わりに

第4章 『豊橋地方空襲日誌』

第三冊(1945年2月11日～1945年3月5日)…………… 207

- 第1節 | 豊橋から見た1945年2月中旬の対日空襲(2月11日～20日)
 - | 第三冊目のはじめに
 - | 厳寒のなか、連日の警戒警報 待避の合図を打つ
 - | 「東海軍から…ラジオによる情報の発表がない」
 - | 東海軍ラジオ情報問題の解決
 - | 県境の警戒警報の流れと、警報の合図
 - | 三菱重工名古屋発動機製作所への爆撃 豊橋(向山町)への爆弾投下
 - | 15日(向山町)の被害状況の検分 死者8名、のち10名
 - | 米第58機動部隊艦載機の2月16日の豊橋地域への来襲
 - | 米第58機動部隊艦載機による2月17日の豊橋飛行場への攻撃
 - | 中島飛行機武蔵製作所への爆撃 浜名湖付近から上陸 一宮村に投弾
- 第2節 | 豊橋から見た1945年2月下旬の対日空襲(2月21日～28日)
 - | 少数機の頻繁な来襲
 - | 物資収容のための新たな待避壕の計画
 - | 厚い雪雲の上からの東京市街地爆撃 第3回目の都市焼夷実験
 - | 春の雨と待避壕(1)
- 第3節 | 豊橋から見た1945年3月上旬の対日空襲(3月1日～5日)
 - | 新たな待避壕の完成と塙の一部の掩蓋利用
 - | 春の雨と待避壕(2)
 - | レーダースコープ写真撮影任務
 - | 東京市街地への爆撃 渥美半島付近から上陸 多米町などに投弾

- 第4節 | 豊橋から見た1945年4月上旬の対日空襲(4月1日～12日)
 - | 1945年4月のB-29の対日爆撃状況
 - | 米軍の沖縄上陸情報と市民による家財の疎開
 - | 地方の航空機工場への爆撃開始
 - | 中島飛行機武蔵製作所と三菱重工名古屋発動機製作所の同時爆撃P-51
デビュー
 - | 桜とともに戦艦大和散る

第6章 『豊橋地方空襲日誌』

第五冊(1945年4月12日～1945年5月14日)…………… 395

- 第1節 | 豊橋から見た1945年4月中旬の対日空襲(4月12日～20日)
 - | 中島飛行機武蔵製作所他への爆撃 御前崎周辺から上陸・離岸
 - | 東京陸軍造兵廠地域への爆撃
 - | WSM375、豊橋(小池町、柳生町)に爆弾を投下 8名死亡
 - | 東京豊島区で被災したむすめ、勝代からのたより
- 第2節 | 豊橋から見た1945年4月下旬の対日空襲(4月21日～30日)
 - | B-29の誘導でP-51志摩半島へ
 - | 日立航空機立川工場、静岡市街地への爆撃
 - | 東海軍管区情報から東海防空情報へ 警戒警報と空襲警報解除の変更
 - | 浜松市街地等を爆撃 うち5機が豊橋(山田町、南栄町など)を爆撃
- 第3節 | 豊橋から見た1945年5月上旬の対日空襲(5月1日～10日)
 - | 4月30日の爆撃被害 陸軍予備士官学校にも爆弾投下
 - | 1945年5月のB-29大規模爆撃の出撃状況
 - | ヒトラーの死とドイツの降伏
 - | 硫黄島から「B-24(PB4Y)」の来襲の頻繁化
 - | 「B-24(PB4Y)」による浜名海兵団等への攻撃
- 第4節 | 豊橋から見た1945年5月中旬の対日空襲(5月11日～14日)
 - | 沖縄支援の西日本地域飛行場への爆撃終了
 - | 第58起動部隊九州への接近と銃爆撃

| 第三冊の終わりに

第5章 『豊橋地方空襲日誌』

第四冊(1945年3月5日～1945年4月12日)……………289

第1節 | 豊橋から見た1945年3月上旬の対日空襲(3月5日～10日)

| 第四冊目のはじめに

| 1945年3月のB-29の出撃状況とその特徴

| 夜間低高度からの焼夷爆撃とルメイ

| 改めて投下爆弾の説明

| 314航空団の増強とレーダースコープ写真撮影

| 焼夷電撃戦(1)東京大空襲 夜間低高度焼夷爆撃

第2節 | 豊橋から見た1945年3月中旬の対日空襲(3月11日～19日)

| 日誌に記された都市焼夷空襲の戦法

| 焼夷電撃戦(2)名古屋市街地の焼夷作戦

| 焼夷電撃戦(3)大阪市街地の焼夷作戦

| 米軍の無差別爆撃と新たな決意

| 焼夷電撃戦(4)神戸市街地の焼夷作戦

| 「危急存亡の関頭に立つ」

| 大和魂を信じて

| 焼夷電撃戦(5)再び名古屋市街地の焼夷作戦

第3節 | 豊橋から見た1945年3月下旬の対日空襲(3月20日～31日)

| 米軍の沖縄戦に向けた動き

| タバコの配給制度と禁煙

| 日本軍硫黄島守備隊の玉砕情報

| 他都市からの疎開者

| 三菱重工名古屋発動機製作所への爆撃 豊橋(向山町)に爆弾投下

| 24日の向山動物園とその周辺への投弾 被害検分

| 米軍の沖縄支援のための大規模作戦の開始

| B-29、13機による三菱重工名古屋発動機製作所への爆撃